



エコマーク コミュニケーション フォーラム

Eco Mark Communication Forum



2011年2月2日
東京ウィメンズプラザ

主 催
財団法人 日本環境協会

後 援
環境省、グリーン購入ネットワーク、国際グリーン購入ネットワーク、
世界エコラベリング・ネットワーク、日刊工業新聞社、日経エコロジー



本日のプログラム

13:30- 開場

14:00- オープニングセレモニー

開会挨拶 財団法人日本環境協会 理事長 森島 昭夫
ご挨拶 環境省 上席参与 小林 光氏

14:10- 「エコマークアワード 2010」表彰式

- ・授与式
- ・受賞者による取り組み紹介（プレゼンテーション）
- ・エコマークアワード 2010 選考委員長講評（東京大学大学院 教授 平尾 雅彦氏）

15:35- 講演

テーマ：「環境配慮商品のマーケティングと消費者コミュニケーション」
筑波大学大学院 ビジネス科学研究科 教授 西尾 チヅル氏

16:20- エコマーク年次活動報告

財団法人日本環境協会 常務理事・エコマーク事務局長 宇野 治

16:30- 閉会

講師のご紹介



西尾 チヅル 氏
(NISHIO Chizuru)

【ひとこと】

企業がどんなに優れた環境配慮商品を作っても、消費者がその存在に気づかない、その良さを理解できなければ普及につながりません。エコマークはその役割を果たすものとして大いに期待しています。本日は、消費者のエコロジー意識の特徴を紹介すると共に、環境配慮商品の受容性を高めるためのコミュニケーションのあり方について概説します。

【研究分野】

市場を構成する消費者の態度や行動をモデル化し、実証分析を通じてそのメカニズムの解明と企業のマーケティング戦略への適用方法に関する研究を行っています。現在の主要な研究テーマは、マーケティング・コミュニケーションとブランド戦略、エコロジカル・マーケティングの戦略とその展開方法です。

【略歴】

- 1985年 学習院大学文学部心理学科卒業
 - 1990年 東海大学大学院工学研究科経営工学専攻博士課程修了 博士（工学）
 - 1992年 筑波大学講師・社会工学系
 - 1996年 同助教授
 - 1999年～2000年 米国 UCLA アンダーソン経営大学院客員研究員
 - 2005年 米国ペンシルベニア大学ウォートン経営大学院客員研究員
 - 2005年 ビジネス科学研究科教授 現在に至る
- *エコマーク運営委員会 委員、エコマーク企画戦略委員会 委員



～エコマークアワード 2010 受賞者～

金賞 株式会社エフピコ

エフピコ方式による「トレー to トレー」のリサイクル

消費者、スーパーマーケット、包装問屋と協力して食品トレーの回収を行い、それをリサイクルしてトレーを製造する「トレー to トレー」の循環型リサイクルシステムを構築しています。トレー自体にエコマークを表示することで、エコマークを広く消費者に普及させるとともに、消費者に回収・リサイクルを根付かせた功績は大きいと考えられます。現在では全国約 7,800 までに回収拠点が拡がり、この取り組みによる CO₂ 排出抑制の効果を定量的に評価して約 3 万トンの削減と試算しています（2009 年度）。また、リサイクル以外にも薄肉化、軽量化などのトレーの省資源化にも積極的に取り組んでいます。さらに、これらの取り組みをわかりやすく伝えるために、累計 30 万人を超える工場見学者の受け入れや外部講演などでエコマークやトレーのリサイクルシステムの普及を継続的に行っています。（1991 年エコマーク認定取得）

銀賞 味の素ゼネラルフーズ株式会社

エコマークを活用した「AGF 袋入り詰め替えタイプ」商品の環境イメージ向上の取り組み

インスタントコーヒーの詰め替え用の袋でエコマーク認定を取得し、テレビコマーシャル「つめかえ用なら、ついでなくっちゃ、エコマーク」をはじめとして、新聞広告など消費者とコミュニケーションできる機会を最大限に利用し、積極的にエコマークの認知度向上に取り組んでいます。エコマーク認定商品を単独で販売するだけでなく、インスタントコーヒーの容器と詰め替え用の袋をペアにして「詰め替えお試しセット」として販売し、詰め替え用の袋を継続的に使ってもらえるようにキャンペーンを行うなどエコマークの商品普及に努めています。上記の取り組みだけでなく、サプライチェーン全体での環境の取り組みを積極的に進めています。（2009 年エコマーク認定取得）

銀賞 株式会社エコリカ

使用済みインクカートリッジのリユース・リサイクル事業について

家庭用インクジェットプリンタ用のカートリッジの回収・リユース（再使用）のシステムを確立し、同社の全てのインクカートリッジがエコマーク認定を受けています。家電量販店をはじめ、全国 6,000 箇所以上に回収ボックスを設置するほか、広告、販促物、カタログ、パッケージ、全てにエコマークを掲載する等して、消費者に「回収・リユース」を認知させた功績は大きく、「使用済みインクカートリッジをゴミにしない」リユースシステムの構築によって、環境負荷削減とビジネスを両立させた取り組みです。また、消費者とのコミュニケーションを積極的に行っています。（2005 年エコマーク認定取得）

銀賞 コクヨ S&T 株式会社

コクヨ S&T (株)におけるエコマーク認定商品拡大のあゆみ

文具は、こどもから大人まで日常生活で必ず使用する商品です。文具業界の中で、いち早くエコに取り組み、これまで継続的にエコマーク認定取得しており（2010 年 12 月現在、約 120 商品、約 1,400 品番の認定品を保有）、文具商品の環境配慮を一般消費者、組織購買者に浸透させ、グリーン調達に与えた影響はきわめて大きいです。また、エコマークへの取り組みの継続性に加え、製品開発とエコマークがリンクしており、現在では自社の全商品がエコ商品となるように製品開発を進めています。（1990 年エコマーク認定取得）

銀賞 株式会社チクマ

循環型社会～低炭素社会形成に向けたエコマーク認定商品の普及と ISO 環境ラベル商品の販売

ペットボトルをリサイクルした制服の販売にいち早く取り組みました。制服のリサイクルシステムの普及推進、業界初の広域認定取得、エコリーフ、カーボンフットプリントなどの取り組み等、繊維業界を環境面でリードしてきました。近年では、環境シンポジウムの開催、エコ対応コストの負担、環境負荷削減効果の見える化、エコマークを活用した顧客への積極的なコミュニケーションを行っています。（1997 年エコマーク認定取得）



奨励賞 株式会社おぎそ

リサイクル高強度磁器食器の製造・販売事業

全国の学校などから給食用の廃食器を回収し、再度、強化磁器食器を製造して、こども達に資源の循環を体感させるとともに、食器にエコマークを表示して普及啓発をはかっています。また、学校、教育委員会等の教育現場などとも連携した、ユニークな環境教育活動を行っています。
(2005年エコマーク認定取得)

奨励賞 キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客さまとともに取り組むライフサイクル全体での環境負荷低減活動

複写機、プリンタ、カートリッジ等の多くの商品でエコマーク認定を取得しています。顧客と直接接点のある販売会社の特性を活かして、webサイトを通じて消費者に向けて、「ライフサイクル全体での環境負荷削減」の様々な取り組みを展開しています。また、情報発信だけでなく、使用済み商品の回収促進と社会貢献を結びつけ、環境活動の見える化にも努力しています。
(1990年エコマーク認定取得)

奨励賞 全国漁業協同組合連合会

貝殻の有効利用で漁業者と共に豊かな里海づくり～貝殻人工魚礁JFシェルナース～

廃棄物として大量に発生する牡蠣やホタテなどの貝殻を利用して作られた人工魚礁（魚のすみか）で、海洋建設(株)*がエコマーク認定を取得しています。全国漁業協同組合連合会は、海洋建設(株)と漁業者と協力し、本製品の製造を行うとともに、魚礁の効果調査・環境保全活動などを行っています。また、勉強会や環境イベントなどでの草の根的な取り組みや啓蒙活動、港湾整備事業等に幅広く貢献しています。
(*2007年エコマーク認定取得)

奨励賞 株式会社丸山製作所

消火器のエコマーク 再生消火薬剤使用

再生消火薬剤を使用した消火器を先駆けて開発し、エコマークに対して商品類型「消火器」を提案しました。現在消火器への再生消火薬剤の使用は業界全体に拡がっており、グリーン購入法でも特定調達品目として取り上げられています。また業界全体での広域認定制度の取得に繋がる契機を作る役割を果たしました。
(2003年エコマーク認定取得)

エコマークアワード2010について

(財)日本環境協会 エコマーク事務局は、今年度エコマークとして初めてとなる表彰制度、「エコマークアワード」を創設しました。

「エコマークアワード」は、エコマーク商品をはじめとする環境配慮型商品の製造、販売あるいは普及啓発を通じて、エコマーク事業の目的である「消費者の環境を意識した商品選択、企業の環境改善努力による、持続可能な社会の形成」に向けて積極的に活動している企業・団体等の特に優れた取り組みを表彰するものです。

それらの優れた取り組みを広く公表するとともに、エコマーク商品等環境配慮型商品のより一層の普及拡大を通じて、持続可能な社会の実現に寄与することを目的としています。

〔エコマークアワードについて〕 URL：<http://www.ecomark.jp/award2010.html>



本日の資料は下記 URL からダウンロードいただけます。
URL：<http://www.ecomark.jp/forum2010.html>